



「みんなや食堂」近況報告と「キッズラップ」のこと

金子小児科 金子淳子

2020年にはじまった新型コロナウイルス感染症の流行から2年余、子どもも大人もいまだにコロナに振り回されています。みんなや食堂は、席数を少なくして、ついまでも使っていますが（本当は使いたくない）、会場での飲食や、本堂での「JAL折り紙ヒコーキ教室」は続いています。でも、コロナ前の賑わいは戻ってきません。

このような状況ですが、いや、だからこそ、いろいろ想いをめぐらせながら、活動の展開を図ってきました。

まず、新しい団体「キッズラップ」を設立しました。「子どもたちを包み育み、時を刻む」がコンセプトです。子どもたちの健やかな成長を支える地域や社会づくりを進めたい。そのランドマークとなる拠点を常盤通り沿いに作りました。建物の名称は「キッズラップ子ども第三の居場所山口宇部拠点」。日本財団が全国に設置を進めている、家でも学校でもない、子どもにとっての第三の居場所。子どもたちはここで放課後勉強したり、友達と遊んだり、夕食を一緒に食べて過ごします。

eスポーツ体験会、JAL・ユーピーアールコラボ企画ダンボールコックピット、マジックショーや演奏会など、各種イベントも行っています。哲学者で山口大学教授の小川仁志先生は、定期的に「哲学カフェ」や、県内在住の作家をお招きした「著者トーク」を開催してくださっています。これらのイベントは、一般のかたでも自由に参加できます。ホームページで詳細をご覧ください。

建物1階には、エムビーエス山本貴士社長に寄贈していた

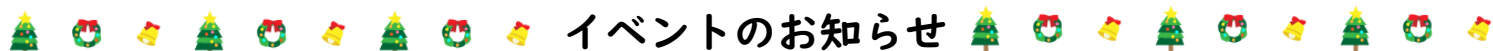
だいた大きな書架があります。その一画を占めるのが「まちライブラリー」。本をきっかけにひととひとをつないでいく取り組みです。すでにここから、東京や長野、北海道の図書館や書店、まちづくり関係者との新たなつながりが生まれています。

乳幼児と保護者がくつろぎ、語り合いながら過ごすことのできる「ラップクラブwith Baby」。毎週火曜日と木曜日に開催しています。保育士やソーシャルワーカーが常駐して、相談対応もしています。

コロナや物価高で、子育て家庭の経済状況は厳しくなっています。今年3月からは、食料や物資を無料で配布する「みんなのパントリー」を、船木「カフェマチスジ」、西岐波「至ITARU」と連携して実施しています。

そして、新天町で開催される恒例の「かねこキッズまつり」。今年は第17回を迎え、約3000人という過去最高の人出で賑わいました。参加者の多さだけでなく、出展や協力を申し出てくださいる企業や団体、お手伝いの高校生や大学生も加速度的に増えています。東京、山形、名古屋、福岡、沖縄など、全国各地からボランティアが駆けつけてくださいました。

少しずつ、ですが、着実に、「みんなでみんなの子どもを育てる」まちづくりの輪が広がっていることを実感しています。ご購入の皆さんにも、仲間に加わっていただけたら嬉しいです。



イベントのお知らせ

第2回ESD研修会

『山口県におけるESDの取り組みについて』

- ・日時：2022年12月17日（土）14:00～16:00
- ・場所：宇部市立図書館講座室（宇部市琴芝町1丁目）
- ☆「山口県におけるESD環境教育の現状について」
田中勇さん（山口県環境学習推進センター所長）
- ☆「高校生を対象としたSDGsの自分事化プログラムの実践事例」
津島 榮さん（うべ環境コミュニティ副理事長）
- ・資料代 500円（高校生以下無料）
- ・申込：ubekuru@gmail.com 電話は下記環境学習館へ
氏名、電話、対面・オンラインの別 メ切：12月13日

第2回環境サロン

テーマ：交通手段と健康

- ・日時：2023年1月11日（水）18:00～20:00
- ・場所：宇部市新川ふれあいセンター
- ☆「フレイル予防のウォーキングのすすめ」
塩田正晴さん（山口大学名誉教授）
- ☆「交通手段転換による健康への影響」
鈴木春菜さん（山口大学准教授）
- 対面・オンラインを併用します
- ・資料代 200円
- ・申込：同左 ・メ切：1月4日（水）



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 J R宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日、年末年始（12月29日～1月3日）



Home Page



facebook



twitter

NP0 法人うべ環境コミュニティ



宇部まつりでマイクロプラスチックの可視化に挑戦 浮田正夫（うべ環境コミュニティー）

11月6日の宇部まつりで、デジタルマイクロスコープを用いて、マイクロプラスチックの可視化を試みました。

漂着ごみの多い、常盤海岸西詰めの砂浜の砂を採種し、その少量を1mmメッシュの篩でふるい、通過した砂を小さいポリカップに移します。これに少量の水を加えて、スプーンで攪拌します。微細な粒子が水面に浮いてくるので、デジタルマイクロスコープ（200倍程度）の焦点を合わせ、その映像を大型ディスプレイに映します。

そうするとたとえば写真のようなきれいな映像を見ることができます。白い微粒子が多いですが、おそらく発泡スチロールの微粒子です。黒く見えるのは石炭の微粒子、茶色いものはおそらく砂の微粒子でしょう。

粒子の周りに小さい白い花びらのようなものがたくさん見えます。中にはきれいなハート型をしたものもありました。

はじめは「おそらく微生物だろう」と説明していましたが、微細気泡じゃないかという意見もありました。たしかにその可能性があるのですが、翌日、加藤理事長と学習館でかき混ぜる水に洗

剤を入れて、同様の操作をしてみたら、白い花びら状の微細気泡は見られませんでした。また、はじめは洗剤を入れずにやると昨日同様、微細気泡が見られましたが、これに少量の洗剤を加えると、徐々に微細気泡は消えていき、右の写真のように白い微粒子が沈んでなくなっています。

一部間違った説明をしてしまいましたが、何よりも心配したマイクロプラスチックの可視化、観察ができたこと、試料の調製から観察まで一連の流れがつかめたことは大きな収穫でした。興味ある子ども達には、試料の作り方から、マイクロスコープの操作まで、体験してもらうことも可能になったと思います。

ただ最近の子ども達は、好奇心があまりないようで寂しい気がします。

2022.11.07 17:07



2022.11.07 17:08



うべ環境コミュニティー会員 コラム

太陽熱のお風呂、エコで家計の助けに

○**太陽熱温水器**： わが家は築30年超の戸建て住宅で、4年ほど前、太陽熱温水器を設置しました。灯油給湯のボイラーの更新にあたり、太陽熱温水器を屋根に設置し、自然流下でお風呂に入れる素朴な方式としています。

長府製作所(下関市)のエコライター(自然循環形・直接加熱)仕様：SWI-23I 貯湯量 200 L、有効採湯量 185 L 集熱部面積 3m²



設備屋さんの見積もりで、灯油給湯器(追い炊き無し)とエコライター含め55万円ほど、内、太陽熱温水器分は約26万円でした。

○**省エネ試算**： 5月から10月頃まで、快晴の日は、50度以上に沸くので、水でうめて、適温になります。今風の給湯器のように、何度のお湯を何L入れるような自動設定はなくて、何事も手加減、湯加減です。春や秋は、太陽熱ではぬるい場合があり、灯油給湯器の湯を足していました。さすがに不便なので、この春、追い炊き付き機能付き灯油給湯器に変更しました。

風呂を沸かす熱量を計算し、太陽熱での節約灯油量を試算してみます。

灯油密度： 0.78~0.80 (g/cm³)

灯油発熱量： 36.49 MJ/L (8,718 Kcal/L)

灯油給湯機の熱効率： 83%と仮定

水1gを1°C上げるのに必要な熱量 1cal

灯油のCO₂排出量原単位 2.409 kg CO₂/kg

夏期、20°C水道水を入浴用に40°Cに上げるため、
300 L x 1000 g x (40-20) (cal) = 6000 (kcal)
6000 / (8718 x 0.83) = 0.83 L の灯油を燃焼。

5月~10月の6か月、2日に1回入浴で75Lの灯油を節約。春秋の2月~4月の3か月、15°Cの水道水を太陽熱で30°Cに上げるとして、28Lの灯油節約。合計103Lの節約と試算します。

灯油価格が120円として、1年で12,000円の節約、CO₂排出量は103 x 0.8 x 2.409 kgCO₂ = 199 kgCO₂減、月あたりでは16.6 kgCO₂削減です。26万円の太陽熱温水器設備費は補助金無しでも20年ほどで元が取れ、CO₂削減に寄与できます。光熱費高騰が心配なこの頃、給湯コストの軽減はさらに家計の助けになります。

○**環境家計簿**： 電力、プロパンガスの領収書から自宅の環境家計簿(9月・ガソリン除く)を棒グラフ(図)に示します。9月に灯油購入はなく、秋の予想です。太陽熱で節約できるCO₂排出は、月に16.6kgCO₂(11%)となります。太陽熱のお湯は余るので、パネルによる暖房にも使えると良いですね。

○**防災面**： 温水器は集熱部が53kg、貯湯部が26.5kg、満水時総質量が280kgです。屋根に重量を載せることで、地震時や台風時の被害が心配されます。家屋の耐震も考えて信頼できる施工者を選ぶことも大切です。

環境学習館の環境サロン「低炭素のまちづくり」第6回(2014年11月)で、太陽熱利用の講演についてうべっくるブログ(no. 2421)があり、4131人の閲覧記録があります。Youtube動画もご参照ください。(村上ひとみ)

http://ubekuru.com/blog_view.php?id=2421

<https://www.youtube.com/watch?v=QfSoZL8hgIq>



環境家計簿試算
(ガソリンを除く
2022年9月分)

